

Studies on the Condensed Chiral Ionic Systems

松木, 昌也

<https://doi.org/10.15017/1931876>

出版情報 : Kyushu University, 2017, 博士 (工学) , 課程博士
バージョン :
権利関係 :

氏名	松木 昌也			
論文名	Studies on the Condensed Chiral Ionic Systems (イオン性キラル凝縮系に関する研究)			
論文調査委員	主査	九州大学	教授	君塚 信夫
	副査	九州大学	教授	高原 淳
	副査	九州大学	教授	金子 賢治

論文審査の結果の要旨

本研究は、柔粘性結晶と一次元混合原子価金属錯体にキラルな構成分子を導入することによって、キラリティに基づく分子運動性の制御ならびに、一次元錯体構造における非対称構造化を実現している。柔粘性結晶におけるキラルイオンの導入が、対イオンのイオン伝導性を向上させるとともに、非極性構造から極性構造への相転移を誘起することを見出している。また、キラル脂質イオンとの自己組織化に基づき一次元錯体構造の対称性が破れ、極性を有するキラル一次元電子系を構築することに成功している。本研究で得られた知見はキラル結晶材料の開発にとり有益なものであり、物化学、錯体化学ならびに分子組織化学上、価値ある業績であると認める。

よって、博士（工学）の学位に値すると認める。